

# 自衛隊貸費学生制度のご案内

作成  
防衛省陸上幕僚監部人事教育部募集・援護課  
〒162-8802 東京都新宿区市谷本村町5-1  
TEL03-3268-3111 (内線40327)

## 自衛隊貸費学生とは

- ① 将来の**特別職国家公務員（幹部自衛官）**の身分が**約束**されています。
- ② 自分の勉強した内容を生かして**技術系の仕事**が可能です。
- ③ 学資金**月54,000円**が貸与され、4年以上かつ学資金貸与期間の1.5倍の期間自衛隊で勤務すれば**学資金の返還は免除**になります。
- ④ 学士の際に採用された方でも、**修士進学（学資金貸与）**が可能です。

## 受験から任官後までの一例（最大4年間学資金を貸費された場合）

大学在籍時			任官後		
2年次	3・4年次	院1・2年次	1年目	2年目～6年目	以降
3月採用（貸費学生）		3月自衛隊入隊	幹部任官部隊配属		
12月受験	学資金月54,000円を給付 4年間で合計約250万円		幹部候補生学校入校 (約1年間)		
			この期間に退職した場合、 学資金の一部又は全額を返還		学費返還免除

## 配置される主な技術分野

陸上自衛隊	装甲車両、誘導武器、サイバー攻撃対処、弾道ミサイル対処、電磁波に関する分野等
海上自衛隊	艦艇、航空機、搭載電子機器・武器（電磁波に関する分野を含む。）、航空武器、水中音響に関する分野等
航空自衛隊	航空機、誘導武器、レーダー、搭載電子機器、電磁波、宇宙領域に関する分野等

## よくある質問

- Q. 貸費学生に合格して採用されて以降、自衛隊入隊のための試験等ありますか？  
A. **ありません**。健康の異状などなく、自衛隊入隊時における**身体検査**で問題なければ、**試験を受けることなく入隊**することができます。
- Q. 自分は大学4年生ですが、大学院で引き続き勉強することはできますか？  
A. 大学院へ進学し、**修士取得後に入隊することも可能**です。
- Q. 他の奨学金との併用は可能ですか？  
A. **可能です**。すでに他の奨学金を受けている場合は、その借入先にも確認を取るようして下さい。
- Q. 陸・海・空の入隊（採用）先はどうやって決まるのですか？  
A. 受験時に陸海空の希望をとります（第1希望から第3希望までであるので、陸海空全てを希望することが可能です）。どの要員になるかについては、試験終了後の選考において決定され、合格発表の時にはどの要員になるかが通知されます。

## 令和5年度自衛隊貸費学生採用試験について

### 【受付期間】

令和6年1月9日（火）から令和6年2月19日（月）まで

### 【採用予定数】

陸・海・空自衛隊 合わせて20名程度

### 【応募資格】

- ① **令和6年4月1日現在**、学校教育法による大学の理工学部若しくは工学部の第3学年次、第4年次又は大学院（専門職大学院を除く。）修士課程に在学し、③の表に掲げる年月日に出生した者で、卒業（修了）後直ちに自衛隊に勤務しようとする者
- ② 応募対象学部  
理工学部又は工学部（これらに類する学部も応募資格に該当する場合がありますので、細部については自衛隊地方協力本部までお問い合わせ下さい。）
- ③ 貸費学生採用年次

区分	生年月日	年齢（R6/4/1現在）	
大学在籍者	第3年次 第4年次	平成12年4月2日以降 平成11年4月2日以降	24歳未満 25歳未満
大学院在籍者	第1年次 第2年次	平成10年4月2日以降 平成9年4月2日以降	26歳未満 27歳未満

- ④ その他の受験資格等については自衛官募集ホームページ又は自衛隊地方協力本部において最新の採用要項にてご確認下さい。

### 【試験】

- ① 試験期日  
**令和6年3月9日（土）**
- ② 試験場  
全国主要都市（昨年度会場：北海道、宮城県、東京都、兵庫県、福岡県、熊本県、沖縄県）
- ③ 試験種目  
**筆記試験（英語、数学、物理、化学及び小論文）、口述試験及び身体検査**
- ④ その他の試験項目の細部については自衛官募集ホームページ又は自衛隊地方協力本部において最新の採用要項にてご確認下さい。

### 【お問合せ】

自衛隊岡山地方協力本部 募集課

☎ 086-226-0361

〒700-8517  
岡山市北区下石井1丁目4番1号  
Mail: hq1-okayama@pco.mod.go.jp

岡山ちほん

検索

お問い合わせ  
はこちらから  
もできます。



# 自衛隊貸費学生として採用された先輩からのメッセージ

※所属・階級等はインタビュー時のものになります。



## 陸上自衛隊



## 海上自衛隊



## 航空自衛隊



陸上幕僚監部 装備計画部 化学室長  
1等陸佐 早川 健太郎  
(平成13年採用)

大学では応用化学を専攻しました。学資金の給付を受けながら勉強ができ、自衛官となった後も大学で学んだ知識を活かせるという話を聞き受験を決めました。

自衛隊に入隊してよかったことは、研究開発の分野に進むことができ、国内の最先端技術に触れる機会が多々ある事です。また、CBRN（化学生物放射線）対応の専門家として原子力災害事故への対応で多くの人命救助に貢献できました。

さらに外務省等に出向し国際機関や大使館等で勤務した際は、多くの国の方と接する機会もありました。また、研究開発分野の知見を活かして、装備品開発のプロジェクト管理に携わることができやりがいと充実を感じております。

現在は、化学武器・生物武器・放射線等の脅威に対応する行政部門である陸幕化学室長として勤務しています。高い専門性を必要とする職務ですが、学生時代に専攻していた応用化学で培った知識・技術を活用できています。

学生の皆さん、現在やりたいことが明確でないならば、とりあえず受けてみることを勧めます。合格後に、自分の進路・人生についてじっくり考えてみるのも良いのではないのでしょうか。



下総航空教育群 第203整備補給隊  
1等海尉 蛭川 司沙  
(平成28年採用)

大学では海洋生物資源専攻でした。貸費学生の制度については知人の紹介で知り、大学2年生から何度か受験するチャンスがあり、早期に幹部自衛官の身分が保証されるだけでなく学資金が支援される点にも魅力を感じ、受験を決めました。

大学3年の春には、将来自衛隊への内定が決まっていたので、勉学、趣味（海外旅行）や友人と過ごす時間に費やすことが出来、とても充実した学生生活を送ることが出来ました。

自衛隊に入隊してよかったことは、公務員であるので福利厚生がしっかりしていること、信頼のおける同期や上司に出会うことが出来たことです。

現在は、航空機の整備・監督や整備計画を作成する仕事をしており、大学で学んだ物理の知識等を活かした仕事をしています。開発部署に異動した際には、専攻した学問がさらに活用出来ると考えています。

「自衛官になりたい!」と強く思っていなくても、早い段階で内定を頂いていると心の余裕が違います。まず受験してみることをお勧めします。



航空幕僚監部 科学技術官  
3等空佐 嘉野 敦史  
(平成24年採用)

大学ではレーザー工学を専攻していました。もともと飛行機に携わる仕事がしたいと考えていたところ、航空自衛隊のパンフレットを見て興味を持ちました。自衛隊地方協力本部へ問い合わせ、その際に貸費学生制度を知りました。

貸費学生採用後は就職活動をする必要が無かったため、その期間を活用しオーストラリアへ短期留学しました。語学や国際交流をすることができ、充実した日々を送ることが出来ました。

自衛隊に入隊し、防衛交流として2年間の米空軍内での勤務する機会があったり、諸外国を訪問して技術的な連携を図ったりと、自衛官であるからこそ経験出来る仕事をしていると感じます。

現在は、米国、英国等との技術交流を担当しており、諸外国の研究者と研究開発に係る議論を行う機会が多いです。大学で培った技術的知識・技能を幅広く活用しています。

貸費学生として採用され、幹部自衛官に任官すると国内外を問わず、幅広くかつ深い軍事技術に触れることができます。共同研究開発や共同演習等、世界で活躍する場面も増えていますので、色々なことに挑戦することができると思います。

